

農林水産部試験研究課題にかかる平成30年度外部評価委員会の結果について

平成30年9月19日
とっとり農業戦略課

外部の有識者の方々による幅広い視点をもとに試験研究課題の選定、試験研究の効率的な実施及び広範囲に普及可能な技術の確立を図ること等を目的として、試験研究課題の外部評価を行いました。

1 外部評価委員会

- (1) 実施日 7月23日(月)、8月2日(木)、8月28日(火)
- (2) 評価者 学識経験者(鳥取大学、公立鳥取環境大学)、流通・経済界(市場関係者)、生産者(農業・林業・水産業関係者)、消費者 計11名

2 評価結果(別紙参照)

- (1) 評価対象
 - ア) 来年度から取り組もうとする研究課題(事前評価対象 12課題)
 - イ) 4年以上の試験研究課題のうち研究期間が中間に達した研究課題(中間評価対象 16課題)
- (2) 評価結果の概要

区分	事前評価			中間評価			合計
	◎	○	×	◎	○	×	
農業試験場	—			3	3		3
園芸試験場	—			9	8	1	9
中小家畜試験場	—			1		1	1
畜産試験場	4	1	3	1		1	5
林業試験場	7	4	3	1	1		8
栽培漁業センター	1		1	1	1		2
課題数合計	12	5	7	16	13	3	28

【凡例】

◎: 12点以上	事前: 研究を実施する	中間: 研究を継続する
○: 12点未満9点以上	事前: 研究内容・方法を見直して実施する	中間: 研究内容・方法を見直して継続する
×: 9点未満	事前: 実施を見合わせる	中間: 研究を中止する

(3) 研究内容・方法の見直し等に関する委員の主な意見

試験場	研究課題名	委員意見
園試 (中間)	気候・風土に適応した砂丘ラッキョウ・ナガイモの安定生産技術の確立	環境に配慮した窒素量等(=施肥方法)を検討すること。
中小家畜 (中間)	「鳥取地どりピヨ」の性別体重較差改善を目指した種鶏改良	日齢を増やす場合の費用対効果を考える必要がある。
畜試 (事前)	高能力種雄牛産子の子牛育成技術の確立	触診で実施している過肥(肥満)の判定方法を検討し、判定基準を明確にする必要がある。
// (//)	体外受精卵技術を活用した和牛増頭と育種改良技術の確立	OCT(光干渉断層撮影)解析を活用・応用した効果が期待できる。
// (//)	県産牛乳のおいしさ評価試験	全国にブランド展開をするときに、研究によって明らかになった数値を加味してはどうか。
// (中間)	粗飼料増産のための優良品種選定試験	近年の気候変動に考慮し、成果等の軌道修正を視野にいれてはどうか。
林試 (事前)	樹齢に応じた「県産スギの材質の良さ」に関する研究	材質特性に合った用途の提案を行うべき。
// (//)	中規模建築物への県産材の構造利用に関する実証試験	建築業界とのタイアップなど具体的戦略を持つ必要がある。
// (//)	カラマツ造林に向けた育苗技術の確立及び獣害対策の実証試験	カラマツの環境耐性について十分精査する必要がある。
裁漁セ (事前)	沿岸漁業収益向上対策試験	季節、場所に適した操業方法(曳網時間、網目の大きさ等)を検討する必要がある。

3 今後の取組

- 委員からの意見はかなり高度で専門性の高いものもあるが、試験研究課題への反映を検討し、効果的な研究になるよう努める。
- 今回の結果はホームページ等でも公開し、広く一般県民の皆様へ試験研究課題への理解を図る。

7月23日、8月2日、28日農林水産部試験研究機関の試験研究課題外部評価委員会 評価結果

試験場		試験研究課題名	試験期間	合計点	総合評価
農業試験場	中間評価	水稻品種育成試験	S43～(終期なし)	13.5	◎
	〃	水稻・麦・大豆の高品質・安定生産を目指した病害虫防除技術の確立	H27～(終期なし)	13.1	◎
	〃	転作野菜の導入を促進する排水等対策技術の確立	H28～H32	12.9	◎
園芸試験場	中間評価	鳥取のナン産地活性化を目指す栽培技術の確立	H26～H35	12.1	◎
	〃	「輝太郎」を核としたカキの産地力強化に向けた栽培技術の確立	H26～H35	12.8	◎
	〃	中山間地園芸作物の安定栽培技術の確立	H26～H35	12.5	◎
	〃	鳥取の花きとシバ栽培を支える安定生産技術の確立	H26～H35	13.8	◎
	〃	園芸作物における病害虫の防除対策	H28～H34	12.0	◎
	〃	気候・風土に適応した砂丘ラッキョウ・ナガイモの安定生産技術の確立	H26～H35	11.9	○
	〃	野菜主要品目の生産拡大と高品質生産技術の確立	H26～H35	12.7	◎
	〃	白ネギを核とする弓浜砂丘地の野菜栽培技術の確立	H27～H34	12.9	◎
	〃	市場競争力のある鳥取オンリーワン園芸品種の育成	H28～H32	13.3	◎
中小家畜試験場	中間評価	「鳥取地どりピヨ」の改良試験 －「鳥取地どりピヨ」の性別体重較差改善を目指した種鶏改良	H28～H32	11.3	○
畜産試験場	事前評価	鳥取和牛ブランド向上試験	H31～H35	12.7	◎
	〃	高能力種雄牛産子の子牛育成技術の確立	H31～H35	11.7	○
	〃	体外受精卵技術を活用した和牛増頭と育種改良技術の確立	H31～H35	11.9	○
	〃	県産牛乳のおいしさ評価試験	H31～H33	11.2	○
	中間評価	粗飼料増産のための優良品種選定試験	H19～(終期なし)	11.8	○
林業試験場	事前評価	樹齢に応じた「県産スギの材質の良さ」に関する研究	H31～H35	10.6	○
	〃	中規模建築物への県産材の構造利用に関する実証試験	H31～H35	11.6	○
	〃	“とっとり”の新しいCLTの製造・利用技術の確立	H31～H33	13.5	◎
	〃	防火・防災性を付与したLVL内装材の開発	H31～H34	12.5	◎
	〃	カラマツ造林に向けた育苗技術の確立及び獣害対策の実証試験	H31～H34	11.3	○
	〃	小型ドローンレーザによる林分解析技術の確立	H31～H33	12.8	◎
	〃	下刈り作業における熱中症対策	H31～H32	12.5	◎
	中間評価	高齢広葉樹林(ナラ類、シイ・カン類)の萌芽更新技術の確立	H28～H32	12.3	◎
栽培漁業センター	事前評価	沿岸漁業収益向上対策試験	H31～H33	11.1	○
	中間評価	サケマス類養殖技術支援事業	H28～H32	12.8	◎

平均値	事前評価	中間評価
◎: 12点以上	研究を実施する。	研究を継続する。
○: 9点以上12点未満	研究内容、方法を見直して実施する。	研究内容、方法を見直して継続する。
×: 9点未満	実施を見合わせる。	研究を中止する。